



室内楽塾 in 東京 2026 受講生募集

2026 年 3 月 13 日(金)～16 日(月)

主催：一般社団法人 Music Dialogue

私たち Music Dialogue では、室内楽を通して、若手演奏家が経験豊富な演奏家と一緒に真の音楽創りを学ぶことで、アンサンブルの本質を理解できる優れた演奏家になるためのお手伝いをしていきたいと考えています。指揮者・ヴィオリストとして世界の様々なオーケストラや音楽祭で音楽監督や首席奏者をつとめてきた大山平一郎（Music Dialogue 芸術監督）やソリスト・室内楽奏者として活躍しているヴィオリストの中 恵菜（Music Dialogue アーティスト）と一緒に演奏しながら、作曲家が作品に込めた思いや意図を再現するために、どのように楽譜を深く読み込み、それを演奏に反映させるのかを学びます。また作曲家や作品のことについて考えるオンライン講座を事前に受講していただくことで、さらに深い音楽づくりのプロセスを体験していただけます。

【期 間】2026 年 3 月 13 日（金）～16 日(月)

【会 場】リハーサル：旧園田高弘邸（自由が丘） / 演奏会：トーキョーコンサーツ・ラボ（早稲田）

【募集楽器】ピアノ、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ

【受講内容】

- ・受講生と大山平一郎・中 恵菜が共に室内楽のグループを組んでのリハーサル/コーチング。
- ・1～3 日目：リハーサル 1 日 2～3 時間（一般のお客様に部分的に公開予定です）
4 日目：ゲネプロ、本番（一般のお客様に公開します）
- ・受講曲は、経歴、演奏経験、受講希望曲等を精査し、塾長が最終決定いたします。
※原則として、ピアノ、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロによる 3～6 名程度の編成
※編成や諸事情を考慮の上、希望以外の曲に決まる場合もあります。
- ・2 月中に 2 時間程度のオンライン講座（音楽史や楽曲分析など）を受講していただき、演奏曲の準備に役立てていただきます。

【講師 経歴】

大山 平一郎（ヴィオラ/塾長/Music Dialogue 芸術監督）

桐朋学園音楽高校卒業後、英国ギルドホール音楽演劇学校を卒業。その後米国インディアナ大学でも研修。1972 年、マルボロ音楽祭にヴィオリストとして参加後、数多くの国際音楽祭に招待され、ギドン クレーメル、ラドゥ ルプー、アイザック スターンら著名な演奏家と共演。1979 年にカルロ・マリア・ジュリーニの率いる LA Phil の首席ヴィオラ奏者に任命され、1987 年にアンドレ・プレヴィンの副指揮者に任命される。その後、客演指揮者として、欧米各地で指揮をする。日本でも数多くのオーケストラを指揮している。米国サンタフェ室内音楽祭、ラホイヤ・サマーフェストの芸術監督を歴任。1999 年から 5 年間、九州交響楽団の常任指揮者、2004 年から 3 年半の間、大阪交響楽団首席指揮者。2003 年に 30 年にわたるカリフォルニア大学教授職を終える。2007 年から 3 年間、ながさき音楽祭音楽監督。2017 年に 35 年にわたる Santa Barbara Chamber Orchestra の音楽監督を終える。2005 年に“福岡市文化賞”、2008 年に文化庁“芸術祭優秀賞”、2014 年に米国サンタ・バーバラ市の文化功労賞を受賞。現在、“Music Dialogue” 芸術監督。CHANEL Pygmalion Days Chamber Music Series 芸術監督。米国 Lobero Theatre Chamber Music Project 芸術監督。

中 恵菜（ヴィオラ/Music Dialogue アーティスト）

桐朋女子高等学校音楽科を経て同大学卒業。ハンス・アイスラー音楽大学ベルリン マスター課程修了。Quartet Amabile のヴィオラ奏者として、第 65 回 ARD ミュンヘン国際音楽コンクール弦楽四重奏部門 第 3 位に入賞、2019 年 YCA 国際オーディション優勝、その他多数優勝。第 22 回ホテルオークラ音楽賞受賞。今井信子、マルタ・アルゲリッチ、ダン・タイソンの各氏と共演。テレビ朝日「題名のない音楽会」NHK-FM「リサイタル・パッショ」などに出演。B→C、ヴィオラスペース、東京・春・音楽祭、宮崎国際音楽祭、霧島国際音楽祭、北九州国際音楽祭、その他多数出演。CHANEL Pygmalion Days 室内楽アーティスト。Music Dialogue アーティスト。元新日本フィルハーモニー交響楽団ヴィオラ首席奏者。使用楽器は宗次コレクションより特別に貸与された Montagnana.

【対象】

原則として、35 歳未満の演奏家を目指し音楽を専門的に学んでいる、またはすでに演奏家としての活動をしている方で、さらなる演奏技術の向上と室内楽曲における解釈力を高めたい方。

【受講料】

77,000 円（税込）

※交通費、宿泊費、食費等は自己負担となります。

※ご入金後のキャンセルによるご返金はいたしません。

【応募方法】

以下の資料一式を、期限までに事務局宛てにメール（mihoito@music-dialogue.org）にて送付して下さい。（※応募書類一式は返却いたしませんのでご注意ください。）

① 参加申込書

② 受講者写真

※サイズ自由、カラー。郵送する場合は、写真の裏面に氏名・専攻楽器を記入すること。

③ 過去1年以内に自身の演奏を録音した10分程度の音源

※wav ファイルか YouTube リンクをメールで送付すること。

④ 推薦状1通

※音楽演奏家による推薦状。様式は問いませんので、推薦者と応募者の関係、応募者の特徴、将来性などについて記載して下さい。

※これまでに講師（大山平一郎・中恵菜）と共演、または指導を受けたことがある方に
関しては、④推薦状の提出が免除されます

【応募締切】

2024年12月8日（月）必着

【選考および通知決定】

・応募書類と音源から選考し12月25日（木）までに通知いたします。

【その他】

- ・受講生は、期間中の全レッスンのリハーサル見学が可能です。
- ・受講のために必要な交通・宿泊・滞在・食費は、受講者の自己負担となります。

【主催・お申込み先】

Music Dialogue 事務局：

〒153-0062 東京都目黒区三田 2-15-10 FAX：03-3713-0102

〔伊藤〕 mihoito@music-dialogue.org／080-1062-8304

〔ホームページ〕 <https://music-dialogue.org/>

